

ジャパン フェスティバル 2015



4月18日(土)、4月19日(日)の二日間にわたり、ハーマン・パークで第22回ジャパンフェスティバルが開催されました。開催前日の夜には、ヒューストン市内に大雨、雷の警報が出るなど天気が大きく荒れ、翌日のフェスティバルの開催が心配されました。

しかし、関係者一同の願いが通じたのか、早朝には雨も上がり、開催期間中で雨に見舞われたのは18日の終了間際だけと天候に恵まれたイベントとなりました。

開会式では、国歌斉唱、高岡総領事のご挨拶に続き、商工会高杉会長から、ハーマン・パークを管理する Hermann Park Conservancyへの寄付金贈呈が行われました。この寄付金は、日本庭園の維持・管理のために使われる予定です。

フェスティバルでは、文楽、太鼓、武術や日本舞踊などの、日本の伝統芸術の紹介に加えて、コスプレコンテスト、“Iron Chef”スタイルでの寿司コンテスト、着ぐるみを着ての“Sumo Wrestling”体験ブースなど、娯楽性の高いイベントが開催されました。また、現役NASCARドライバーの尾形明紀氏が来場され、氏のレースカーが二日間展示され、多くの子供達に興味深く見学していました。好天に恵まれたこともあって、一時は、チケットブースからチケットが無くなるほどの(!)数多くのヒューストン市民が来場しました。

我々日本商工会では、“キッズ縁日”として、ガラポン、輪投げ、スーパーボールすくい、金魚すくい、ヨーヨーつりのコーナーを出展、有志のボランティアで運営しました。あわせてチケットブースにもボランティアを派遣しました。2日間で商工会会員、並びにご家族の皆様延べ163人の方々にボランティアとして参加いただきました。

前日の悪天候の影響で初日朝のテント設営が遅れ、2日目朝には金魚すくい用の給水が止まるなど、数々のChallengingな出来事が起きましたが、ボランティア有志の方々の献身的な運営ご協力、機転を利かせた柔軟な対応により、大きな支障なく縁日の運営ができました。絶え間なくお客様が来場し、一息つく暇もない中、ボランティア有志の方々におかれましては、常に笑顔を保ち、明るい雰囲気の中でキッズ縁日とチケットブースを運営いただき、本当に頭の下がる思いです。

別のページにて、キッズ縁日の写真をいくつか紹介していますが、そこでは、日本人、アメリカ人問わず子供達が心から喜んでいる姿をご覧になれるかと存じます。同時に、献身的に作業・接客をされるボランティアの方々の姿をご確認できるかと思います。

キッズ縁日には合計7,065名のお客様にご来場頂き、11,192枚のチケットを売り上げました。得られた収益は、同じChildren Zoneで、伝統的な日本の遊びを紹介していた日本人会様運営ブースからの収益と合算して、来年以降のフェスティバル運営のために、ジャパンフェスティバルの運営主体であるThe Japanese Festival of Houston, Inc.に、商工会並びに日本人会の名前で寄付いたしました。

本年も、怪我や事故がなく、多くのヒューストン市民に喜んでいただける活動ができましたのは、ボランティア有志の方々、並びにそのご家族の方々のお力によるものと思っております。最後に、この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

来年以降も、このJapan Festivalが、長く、日本人とヒューストン市民の絆を深める交流の場になることを願っております。

ヒューストン日本商工会 副会長(ジャパンフェスティバル担当)
クラレアメリカ 鈴木一



→6,7ページに続く

目次	1... ジャパンフェスティバル	4... 講演会	7... ジャパンフェスティバル	10... 駐妻日記・知っとな
	2... 商工会理事委員会議事録	5... 宇宙セミナー	8... ソフトボール大会	11... テキサスメディカル最前線
	3... 入園入学式・会社紹介	6... ジャパンフェスティバル	9... ソフトボール大会・TX会総領事杯	12... 古本市・告知・Walker・編集後記

平成27(2015)年4月度 商工会常任委員会 議事録

日 時: 平成27年4月15日(水)13:00~13:50

場 所: United Way of Greater Houston CRC オーディトリウム

出席者: 名誉会長、常任委員28名、正会員8名、事務局長

欠席者: 73名 (うち会長委任37名、代理委任6名、無回答30名)

司 会: 金子公亮幹事

1. 商工会会長連絡 (高杉禎会長)

当会は4月より下半期の繁忙期に入り、各種の大きなイベントが予定されている。ソフトボール大会は無事終了し、今後、ジャパンフェスティバル、テキサス会、古本市、ピクニック、宇宙セミナーなどが次々と開催される。組織はさらに拡大し、現在、正団体会員数は102団体、総会員数は686人と過去最高を記録している。その背景には、ヒューストンの拡大化がある。ヒューストン・メロポリタン地区の人口を見てみると、昨年半ばには650万人であったのが、今年半ばには660万人となることが予想されており、増加の一途をたどっている。人口が320万人であった30年前に比べると、2倍に増えており、メロポリタン地区の人口ランキングを見ると、ヒューストンは第5位となっている。油価が下落して約半年経ったが、ヒューストン全般で言えばまだ経済は上昇傾向にある。当会も会員がさらに増加する傾向にある中、皆様のニーズに応えるべく会員間の交流を推進し、補習校の運営を支援し、当地における日本のプレゼンスを高めるよう努めていきたい。会員の皆様には引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

2. 総領事館連絡 (高岡望総領事)

①2月末にオースティンで、山野内在米大使と田口在米大参事官も同席の上、カスコ州務長官と会談した。同会談では、ヒューストンとダラスを結ぶ高速鉄道計画構想を含むテキサス州と日本との経済関係が将来有望なことについて意見交換が行われた。私からは、エネルギー業界における協力関係、テキサス州の米国における戦略的位置、そしてハイテク分野における協力関係の3点を強調し、同長官の同意を得た。この他ヒューストン、ダラス、サンアントニオにおいては講演やシンポジウムなどを通してこのような協力関係について強調しており、その活動はホームページにも紹介されているのでぜひご覧いただきたい。

②今年2015年は戦後70周年を迎える節目の年である。4月末には安倍総理大臣の米国公式訪問が予定されており、議会における演説などを通して日本と米国の二国間関係、そして東アジアにおける米国のパートナーとしての日本の重要性を強調するメッセージが発信される。これを受けて、当館は商工会と情報を共有し、地元での活動を通して日本のプレゼンスを高めていきたいと考えている。4月30日には関係企業のご協力をいただき、ホロコースト博物館においてLyndon B. Johnson Moral Courage Award Dinnerが盛大に開催される予定。当晩餐会は、日本人とユダヤ人という米国におけるマイノリティ同士の協力関係、また賞の授与を日本と中国の総領事が行うという日中の協力関係の面からも、非常に有意義なイベントである。同様に、アメリカ市民が3万人規模で集まるジャパンフェスティバルにおいても、日本のプレゼンスを前向きに示す活動として、当館はできる限りのサポートをしたいと考えている。

3. 幹事報告【追認事項】(金子公亮幹事)

*本多之仁第一副会長の選任について

第一副会長の及川毅氏が4月1日にご帰任されるに伴い、後任者の本多之仁氏(Sumitomo Corporation of Americas)が新第一副会長として就任することを定款の規定を準用し書面(email)によつて4月6日開催の特別会議で審議し、過半数(有効投票総数20票、賛成投票数15票、反対投票数0票、欠席数5票)の賛成をもって承認した。また、本会では当該理事委員会の承認が過半数の票をもって追認された。

4. 会計幹事報告【追認事項】(金子公亮幹事: 加藤信之会計幹事代理)

*Gulf Stream編集用PC購入について

会報誌の編集作業に従来より使用していたPCの老朽化と、DTP担当の編集委員を増員したことにより、ハードウェア・ソフトウェア両面できちんとした体制を整える必要が生じたため、それらを新規購入する追加予算措置を諮ることとなった。事前に入手した見積もりでは、ノート型パソコン2台と編集用ソフトウェアを含め3,600ドルの支出を見込んでいる。税法上当該パソコンは減価償却対象となるため、当年度追加で見込まれるDepreciationの費用を、当初予算に比べ500ドル増加することが2月に開催された理事委員会で承認された。定款に基づいて、当該理事委員会の承認を本会過半数の票をもって追認した。

5. テキサス州六者交流会関連報告

(猿川秀正会員: 本多之仁第一副会長代理)

当交流会は、テキサス州の六都市(ヒューストン、ダラス、オースティン、マッカーレン、エルパソ、サンアントニオ)の商工会等が毎年持ち回りでホストを務め、互いの交流を深めるために行われている。今年度は、当地にて11月6日(金)、7日(土)に開催が予定されており、ホスト役主幹事の住友商事社、副幹事のJAXA社と中部電力社の代表者によって準備が進められている。他のゲスト五都市の代表者へは、すでに日程を確保していただくよう依頼済み。参加者数は、約120名(ヒューストンより60名;ゲストの五都市より60名)を見込んでいる。プログラムとし

て、6日にはNASA見学とJAXA社職員による講演会、ホテルでの懇親会を予定しており、7日には希望者による懇親ゴルフ会をIAH近辺のTour 18 ゴルフ場にて予定。来賓宿泊先は、Hilton Post Oakとなる。参加人数が大きく変動した際には、ヒューストン側で調整する必要があるため、ご協力をお願いしたい。ご案内等の詳細は、後日別途送付する予定。

6. 2015年ジャパン・フェスティバル関連 (金子公亮幹事: 鈴木一 副会長代理)

4月18日(土)、19日(日)実施の同フェスティバルは、いよいよ今週末となり、皆様にはぜひお越しいただきたい。Kids Activityのボランティアは、20社から155名の方にご応募頂き、必要数を確保することができ、ご協力に感謝申し上げます。本年より、商工会ブース、Kids Activityの位置が変更になるため、案内メール、手引き内で注意喚起している。スポンサーシップの面では、4月7日現在、商工会加盟企業9社から、計\$25,000の寄付が提供されている。昨年は16社より、計\$36,420の寄付があったので、\$10,000ほどの減少となっている。3月26日時点での本年会計見込みは、収入が12万ドル、支出が11万ドルとなっており、フェスティバル終了後に当フェスティバル事務局より雨天用のファンドも含め、会計結果の報告がある。新しいプログラムとして、本年から関係者、スポンサーを招いて前夜祭が行われる。尚、オープニングセレモニーでは、例年同様、商工会会長よりHermann Parkへの寄付(模造小切手授与)を行う予定。また、日本の伝統文化・伝統芸能を紹介できる方を募集するメールを会員に発信した結果、お一人の方から連絡があり、イベントコーディネーターに繋いだ。

7. 日本庭園清掃活動の結果報告 (加藤真人他団体対応・日本庭園特命理事)

日本から招聘した庭師による定期メンテナンス作業は3月4日に無事完了し、4月11日はジャパンフェスティバルに先駆けて27名のボランティアの協力により、庭園清掃作業が滞りなく行われた。本会からは、日本庭園があるハーマンパークを管理するHermann Park Conservancy (HPC)へ毎年4000ドルの寄付をしており、今年もジャパンフェスティバルのオープニングセレモニーにて高杉会長より模造小切手を贈呈していただく予定。また、これとは別に、同庭園が2017年に開園25周年を迎えるにあたり増設計画をしており、市の資金援助で足りない分に関しては当地の日系企業および日系コミュニティに援助を求める要請がある。皆様のご協力をお願い申し上げます。

8. 第2回宇宙セミナーについて

(金子公亮幹事: 酒井純一 対外交流特命理事代理)

5月16日(土)補習校授業終了後に、補習校のオーディトリウムにて今年度第2回目の宇宙セミナーを開催する。今回は金井宇宙飛行士による講演会で、金井飛行士の専門性を活かして宇宙医学に関する講演を予定している。受付、講演会の時間等詳細については、補習校側と最終確認中である。後日、事務局よりご案内を送付するので、奮ってご参加いただきたい。

9. 委員会・部会報告

①スポーツ委員会 (雑野太一副会長兼スポーツ委員長)

*商工会ソフトボール大会結果報告

悪天候が心配されたが、事故や大きな不具合もなく4月5日に無事ソフトボール大会を開催することができた。19チームが競い合い、コムツが優勝した。後日キャプテンよりアンケートを通して寄せられた意見は、来年度にぜひ生かしたい。優勝カップの授与には、総領事の代理として岩崎首席領事に出席いただいたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

*第551回テキサス会「総領事杯」進捗報告 (平田一成エネルギー部会部会長)

4月26日(日)にThe Clubs of KingwoodのForest Courseにて開催予定。午前8時にショットガンスタートし、終了後はクラブハウスにて懇親会が行われ、総領事より優勝トロフィーを授与していただく予定。本日現在、35名の参加申し込みがあり、17団体から賞品の寄付が届いているが、締め切り日までに申し込みも寄付もさらに増える見込み。4月23日には第2回幹事会が開催され、詳細をつめる予定である。引き続きご協力をお願いしたい。

②文化委員会 (金子公亮幹事: 藤井一彦文化委員長代理)

*商工会・日本人会共催ピクニック関連報告

Ranchのオーナーが変更となったり、改修工事が完了できない恐れがあるなど、一時開催が危ぶまれる時期もあったが、この度、新オーナーのFort Bend Countyと無事契約締結にこぎつけ、5月10日(日)、当初の予定通りピクニックイベントを開催できる運びとなった。既に会員各社様に対し、開催案内にてご連絡している通り、恒例のラッフル抽選会などはそのままに、昨年までとは異なるアクティビティも多数用意している。ご家族やご友人をお誘いあわせの上、皆様奮ってご参加いただきたい。なお、別途、ラッフル抽選会に向けた寄付の依頼も差し上げているが、イベントを盛大に盛り上げるべく、何卒ご協力を賜りたくお願い申し上げます。また、来週4月24日(金)には、当日の進行や役割分担に関する詳細な確認を行うべく、第2回幹事会も予定している。幹事会社の方々には、引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。

③企画調査委員会 (黒川淳二企画・調査委員長)

*「航空業界の動向およびマイレージプログラム利用による賢い経費削減術」講演会開催案内

本日、常任委員会終了後、同会場にてユナイテッド航空の井川啓子氏と赤松俊之氏を講師としてお迎えし、講演会を開催する。事前にお申し込みをされていない方々も

ご出席いただきたい。また、今後の予定として、8月に次回の定例講演会を開催する。詳細は確定次第、おってご案内する。

④生活・情報委員会

(金子公亮幹事: 大内裕子生活・情報委員長代理)

*古本市開催について

5月2日(土)10:30~12:00に三水会センター会議室において古本市を開催する。午前10時より整理券を配布し、午前中のみ開催となる。なお、三水会センター図書館では古本市で販売する本や雑誌、絵本などの寄付を随時受け付けているので、ご家庭で不要となった本をぜひご寄付いただきたい。また、今回は

現地校で日本語を学ぶ生徒の皆様にも役に立ていただけるよう日本語教材(辞書、漢字ドリルなど)のコーナーも設ける予定。売上は、前回と同じく図書館の子供向けの本の充実に使う。

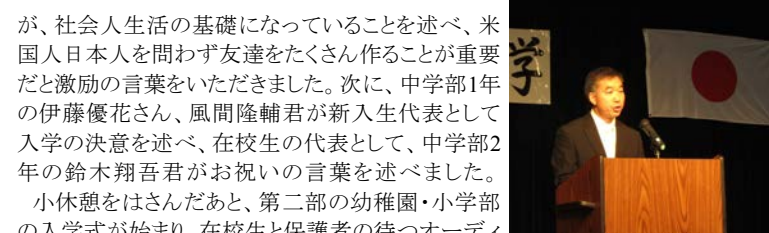
10.事務局連絡事項 (小林浩子事務局長)

*会員消息

4月15日現在の会員数は、名誉会員9名、正個人会員641名(正団体会員102社)、準会員36名。総会員数は、686名である。詳細については、別紙「会員消息」参照。4月から下半期に入るにあたり、会員消息のアップデートを事務局へご連絡いただきたい。

ヒューストン日本語補習校

入園・入学式の開催



テキサスの州花ブルーボネットが咲き始める春爛漫の候、第44回ヒューストン日本語補習校の入園・入学式が4月4日に行なわれました。昨年と比べ30名多い総人数155名の入園・入学式となったため、会場の広さが足りず中学部・高等部と幼稚園・小学部の2部制での開催となりました。

最初の中学部・高等部の入学式では、中学1年生30名、高校1年生17名が温かい拍手のもと入場し、日米国歌斉唱後、新入生一人一人の名前が担任の先生から呼び上げられました。山崎校長先生からは、江戸時代の儒学者である広瀬淡窓が門下生を励ましたときの詩を引用して、同じ志の仲間て苦労を分かち合い、助け合い、そして生活を謳歌することの大切さを述べた式辞をいただきました。続いて岩崎敦志首席領事からは、ロサンゼルス補習校に通っていたご息のことに触れ、両国の文化を学び勉学に励んだ体験

が、社会人生活の基礎になっていることを述べ、米国人日本人を問わず友達をたくさん作る事が重要だと激励の言葉をいただきました。次に、中学部1年の伊藤優花さん、風間隆輔君が新入生代表として入学の決意を述べ、在校生の代表として、中学部2年の鈴木翔吾君がお祝いの言葉を述べました。

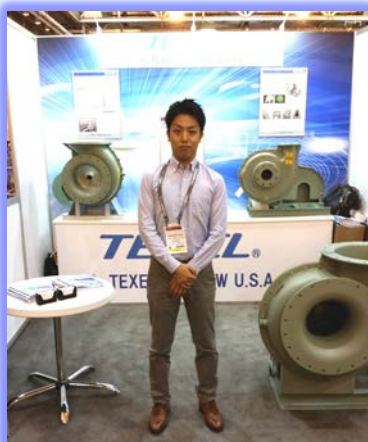
小休憩をはさんだあと、第二部の幼稚園・小学部の入学式が始まり、在校生と保護者の待つオーディトリウムに、プレザヤワンピースに身を包んだ新入園児54名と小学生54名が元気よく入場行進して来ました。わが子の晴れ姿を撮ろうとカメラやビデオを構える保護者の方々の熱気が伝わってきました。新入生を代表して小学部1年の原里緒さん、和田実優さん、川本ももこさんが壇上に入り補習校の勉強に対する抱負を語ってくれました。ももこちゃんの「お母さんが言う前に宿題をやる」という言葉に、場内からは感心の声が続いていました。これらの新入生の言葉を受け、在校生からは小学部2年の山崎港太郎君、井上遼太郎君、森彩花さんが、新入園・入学児に歓迎の言葉を贈りました。

現地校は入学式が無いため、補習校で開催された入学式は生徒達にとって新鮮で感慨深いものになったに違いありません。新入園・新入学児童・生徒の保護者の皆様、本当におめでとうございました。(補習校運営委員)

ヒューストン日本商工会 会社紹介

TEXEL-SEIKOW U.S.A., INC.

和 田 隼 忠 さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

当社は耐食機器を得意とするセイコー化工機株式会社の子会社としてTEXEL-SEIKOW USAを設立し2014年6月より活動を開始しました。当社では化学系プラント、水処理、大学/病院等のドラフトチャンパー(Fume hood)の腐食性ガスの排気や送風、脱臭等にて使用されるFRP送風機、脱臭装置、排ガス処理装置の販売及び製作を行っております。FRPはFibre reinforced plasticの略称で樹脂と繊維等により製造され、様々な分野で使用されています。身近なもので言うと車、飛行機、小型船舶が挙げられますが使用される繊維や樹脂を変えることにより、目的に合わせたFRPを作る事が可能で、当社で使用されるFRPには腐食性のあるガスに対して耐食性を持たせることができる素材が使用されております。

この様な耐食機器は主に過酷な環境下で使用されることが多いですが、品質が悪いものであれば数年と経たずに破損やトラブルに繋がります。そういった内容に対しての製品の取り換え案件、情報収集等を主に出張ベースで当初は取り組んでおりましたが、アメリカ市場にはまだまだ開拓の余地があると判断し、アメリカでの現地法人の立

上げに至りました。アメリカでの商習慣を踏まえ、良い所は採用し悪いと感じるところには日本での経験や対応方法を採用し、迅速な対応と細やかな営業活動を心掛け活動しています。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

家族帯同で赴任をしましたが、とても住みやすい環境だと感じています。日本では車通勤をする事はなく、いつも満員電車の中でしたが、電車通勤から解放されて、自分のComfort zoneが確立できる車内に比べれば、ヒューストンの渋滞は苦痛に感じません。また、天候も暑い気候が好きなのでヒューストンの気候は過ごしやすいです。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

音楽が好きで昔からドラムをしておりましたが、こちらに赴任してからは自分専用のMen caveにドラムスペースを持つことができました。パーベキューが好きなので、こちらでの駐在中には本格的にキャンプやアウトドアを始めてみたいと思っています。またスペイン語の勉強も始めたいと考えています。

米国航空業界の最新事情



本記事は、当商工会主催で4月15日にUnited Way Community Resource Center で開催した講演会の内容を講師のご了解を得て編集しました。(編集部)

1. 米国航空業界の再編と4大航空会社

米国の航空業界の再編の背景は、1979年の規制緩和に遡る。多数の航空会社による過当競争により、航空各社は2008年まで殆ど利益が出ない状況であった。2003年までに業界全体で\$35Bの負債を抱え、2001年から2005年の税引前損失の累計は\$25Bに上った。連邦破産法第11条申請に至った会社は、1979年から現在までに196社あり、そのうち1990年代は51社、2000年以降は45社であった。

こうした背景により、2008年以降、航空会社の合併等の再編が急速に進んできた。現在はデルタ航空、ユナイテッド航空、アメリカン航空、サウスウエスト航空の4社で業界の90%の輸送能力を占めている。再編により航空業界の利益率も改善し、2008年の▲3.7%から、2013年には5.4%、2014年には8.1%となった。主要3社の税引前利益・利益率(2014年)は、ユナイテッド航空が\$2.0B・5.1%、アメリカン航空が\$4.2B・9.8%、デルタ航空が\$4.5B・11.2%である。一般には二桁の利益率が優良とされるが、ユナイテッド航空は、米国の4大都市(NY、LA、シカゴ、ヒューストン(IAH))の使用料の高い空港をハブとしており、低利益率の主因となっている(例えば、NYの空港使用料は、デルタ航空のハブであるアトランタの数十倍)。ユナイテッド航空は大都市の優良顧客を獲得していく施策が必要となる。

また、最大の経費は燃料費であり、その割合は1999年の10%から2013年の34%まで上昇した。最近では油価下落により若干低下しているが、新機材導入によっても、燃料費は、例えばボーイング747から777への転換で2割削減し、777から787への転換で更に2割削減となる。次に大きな経費は空港使用料・税であり、9.11以降、安全強化のために上昇し、17~20%を占めている。一方、収入面でも、機内食や手荷物の有料化といった施策を各社は講じている。

2. 共同事業等の更なる取組

航空各社は、共同運航(コードシェア)・共同事業を通じて、運航時間帯改善や就航都市拡大といった利便性向上と同時に競争力強化が可能となる。ユナイテッド航空・全日空間でも、2010年の日米オープンスカイ協定で独占禁止法の一部適用除外されたことが契機となり、共同運航・共同事業の取組が進んでいる。例えば、ユナイテッド航空は、成田からバンコク、ジャカルタ、クアラルンプールへの各便について、全日空との共同運航化を実現・予定しており、機材の有効活用や米国からの乗継客の取込を進めている。

特に、IAH-成田間について、ユナイテッド航空は、昨年3月に1日2便に増便したが、本年6月12日からは、ユナイテッド航空運航1便と新たな全日空運航1便による共同事業2便の新体制となる。これを機に、両社は、アジア各地から成田・IAH経由で中南米各地に向かうネットワークと、米国南東部各地からIAH・成田経由でアジア各地に向かうネットワークを強化し事業拡大に繋げていく。なお、共同事業とは、単なる共同運航ではなく、一つのビジネスユニットとして運営した上で売上・費用を分割するものであり、同条件で全日空とユナイテッド航空のフライトを販売する。

また、ユナイテッド航空は、こうして改善した収益により新機材を導入し、燃費向上に加え、長距離国際線ビジネス・ファースト全席のフラットベッド化、足元の広いエコノミープラス席導入等を実現している。また、ウェブやモバイルアプリ経由サービス等のテクノロジー面も強化する。売上高は\$38 B(2014年)に達し、これは日本航空の3倍、全日空の2.5倍であり、年間乗客数は1.4億人に達する。

3. 企業・個人向け特典プログラム

ユナイテッド航空では、中小規模法人向け経費削減プログラムとして、「PerksPlus」と「PassPlus」を用意している。「PerksPlus」は、出張者個人へのマイレージに加え、会社もポイントを獲得して、会社が無償航空券、アップグレード等の特典を受けるプログラムである。「PassPlus」は、前払した金額に応じて割安な航空券を購入できるプログラムである。



個人のマイレージプログラムについて、ユナイテッド航空のプログラムでは、今年3月から、搭乗マイルではなく、利用料金とステータスで貯まるマイルを決定する仕組みに改めた(なお、ステータスは従来通り搭乗マイルによる)。

全日空IAH-成田便運航を機に、日本との往復が中心の利用者は、全日空のプログラムに切り替え、全日空の特典を利用することも一案である。一方、IAHをハブとして北中南米各地への出張・旅行が多い利用者は、ユナイテッド航空のプログラムを継続したほうが、ユナイテッド航空の特典を利用できる機会が多く有利と思われる。

また、新体制となるIAH-成田便について、全日空・ユナイテッド航空どちらのフライトで申し込んでも、どちらでも一方のプログラムでマイレージを貯めることができる。例えば、全日空運航便をユナイテッド航空の便名にて予約すると、ユナイテッド航空のプログラムにおいて、ユナイテッド航空運航便と同じ条件で特典マイルとステータス獲得が可能となる。

なお、日本行きの場合、LA経由が安くなることが多いが、これはLA便は各社の価格競争が激しいことによる。

質疑応答

Q1: 航空各社の今後の課題は?

A1: 中東の航空会社(エミレーツ、カタール、エチハド)が急成長している。積極的に新機材を導入し、ドバイ等をハブにして需要を取り込もうとしている。ユナイテッド航空としても、更なるコスト削減・利益率改善により経営体質を改善し、新機材を導入して顧客のニーズに応えていく。

Q2: 日米航空会社の協力体制が進んでいるが、アジア市場では、韓国やシンガポールとどのような協力・競争関係となっているか?

A2: ゲートウェイ(空港)間での競争となっている。北米でのIAH・アトランタ・ダラスの競争と同様である。アジアの需要を取り込む際、成田・ソウル・シンガポール・ドバイ等のどの空港をハブとするのか、そしてそのハブ空港を中心としてどのようなネットワークを構築するかが重要となる。ユナイテッド航空と全日空は、成田をハブとしているので、成田から東南アジア各地へのネットワークの充実がアジア市場での成功の鍵となる。

< 講師略歴 >



井川啓子氏:

ノースウエスト航空勤務を経て、1998年コンチネンタル航空に入社し、ヒューストン-成田線就航立上に従事。2012年ユナイテッド・コンチネンタル航空合併に伴い、ユナイテッド航空シカゴ本社勤務。現在同社アジア・パシフィック営業部、マネージングディレクター。

赤松俊之氏:

日系旅行会社勤務を経て、1999年コンチネンタル航空に入社。2012年合併よりユナイテッド航空ロサンゼルス支店勤務。現在同社アジア・パシフィック営業部、グローバルセールスマネージャー。日系企業、旅行代理店を担当。商工会ビクニックでのラッフル司会者としても皆様にお馴染み。



第1回 宇宙セミナーの開催

例年、多くの商工会員の皆様にご参加頂いております宇宙セミナーを今年度も引き続き開催しております。

今年度は計3回予定しており、3月8日(日)に第1回を開催致しました。



今年の第1回は、NASAジョンソン宇宙センターの施設見学ツアーと、国際宇宙ステーション(ISS)での利用実験に関するJAXA職員講演を開催し、25家族77名の方々にご参加いただきました。

午前9時半に、スペースセンターヒューストンから出発するトラムに乗って、NASAジョンソン宇宙センターの施設見学ツアーへ出発しました。JAXAヒューストン駐在員事務所の高田所長代理による日本語での案内により、ISS運用管制室、ISS実物大モックアップが展示されている宇宙飛行士訓練施設、スペースシャトルの電気総合試験を行っていた施設、ロケットパークを、約2時間かけて見学しました。ISSの実際の運用管制の様子やISSやサターンVロケットの大きさを実感するツアーとなりました。また、ツアー中、ISSでの成果や将来の宇宙開発計画など、活発な質疑応答が行われていました。



昼食をはさみ、午後1時から、スペースセンターヒューストンの会議室 Silver Moonにて、「ISSの日本の実験室『きぼう』〜これまでやってきたこと、これからやること〜」の演題で、JAXA職員講演を開催しました。今回は、新たな試みとして、宇宙で行う実験に主眼をおき、筑波宇宙センターでISSの実験業務に携わり、NASAとの技術調整のためジョンソン宇宙センターへ出張中のJAXA宇宙環境利用センター梅村開発員が講演を行いました。

講演では、ISSの大きさや飛行高度、ISSが飛行している宇宙環境が地上とどう違うかについて、身近なものへの例え、簡単な実験の紹介を通して体感する形で進み、宇宙環境の特徴を活かした実験がどのように実施されているかが説明されました。

例えば、ISSは、富士山の100個分、ヒューストンとバトン・ルージュの距離くらいの高さを飛んでいます。また、フットボール場くらいの面積があり、地上から肉眼でははっきり見えます。また、「Spot The Station」でWEB検索すると、ヒューストンを含め、世界各地からISSの見える時刻、方向等の情報が載っていることも紹介されました。

また、宇宙飛行士が大きな布に乗って、「空飛ぶじゅうたん」のように、楽しくISSの中を移動する動画の紹介では、ISSの中の微小重力環境が実感いただけたと思います。

また、ISSは、1秒間に約8kmという非常に速い速度で飛行しています。この速度を実感いただくために、ISSが、もし地上すれすれを飛行しているとしたら、どんなふうに見えるか?というビデオも紹介されました。一瞬でISSが過ぎ去り、その速さを実感いただけたと思います(実際は、空気が存在し、大気の摩擦抵抗が大きくなるため、地上近くを高速飛行することはできません)。

ISSの飛行している高度では、船外はほぼ真空環境です。この環境を実感いただくために、透明の容器内にしぼんだ風船とマシュマロを入れて、真空ポンプで容器内を真空にしたらどうなるか、という実験を行いました。真空引き作業は、少々力が必要でしたが、望月花恋ちゃんが難なく実施してくれました。また、加藤瑠奈ちゃんが、容器内が真空になるにつれて中のマシュマロや風船が大きく膨らんでくると、また再び空気が入ってくると元の大きさに縮む様子を、とても上手に解説してくれました。大人顔負けの、的確な素晴らしい解説でした。

次に、これまで実施してきたISSでの実験内容や成果について説明されました。ISSでは、重力や対流の影響がないため、静かな環境で、地上では形成できない高品質なタンパク質結晶を生成することができます。これを地上に持ち帰り、結晶構造を詳細観察することで、例えば、筋ジストロフィーという難病の原因となるタンパク質の構造を明らかにして、その構造にぴったりと当てはまる新薬の候補を探す研究開発がすすめられていることが説明されました。

また、宇宙では、骨は骨粗しょう症の10倍の速さで、筋肉は寝たきりの人の2倍の速さで弱くなります。宇宙飛行士は毎日2時間運動をして予防していますが、それでも骨も筋肉も少しずつ弱ってくるため、宇宙飛行士の日々のデータ、さらに宇宙でのメダカの実験データなどを通して、研究が継続されていることが紹介されました。宇宙の現象は、骨粗しょう症や地上の老化現象に似ているため、将来、宇宙での研究や対策は地上で活用できるかもしれません。

また、地上と宇宙でスクワットをすると、力の入れ具合がどう違うかという事例では、参加者の方にもスクワットをしていただき、ISSで撮影された星出飛行士のスクワットの様子との比較を行いました。地上では、かがんだ後、立ち上がる時に力がかかりますが、宇宙では重力が働かないので逆に、足がかがむ時のほうが力がかかることが解説されました。

ISSには、宇宙から災害監視をするという大事なミッションもあります。洪水や火山噴火、

台風、山火事を観測し、被災地へ情報提供している状況も解説されました。

また、ISSからは、遮るものがなく、宇宙全天の観測ができます。ISSは90分で一周するため、宇宙からのX線の状況が変わると、その変化を素早くとらえることができます。日本が開発したMAXIという名前前のX線カメラでとらえた情報は、世界中の天文学者にデータが提供され、天文学者が、変化のあった領域を詳細観測することで、ブラックホールに星が吸い込まれる瞬間の観測、極超新星爆発の痕跡の発見ができました。また、新しい材料や半導体結晶の開発状況も説明されました。

ISSは、5極15か国で運用されていますが、アジアから参加しているのは日本だけです。このため、アジアの様々な国と協力してISSで実験を行っています。マレーシアとの高品質タンパク質結晶生成実験、ベトナムと東京大学の超小型衛星放出実験などが紹介されました。他にも、宇宙飛行士を通じた交流や教育実験も実施されています。

そして、今年の初夏にISSに飛び立ち、長期滞在予定の油井亀美也宇宙飛行士のミッションについて紹介がありました。

最後に、ISSで「これからやること」というテーマで、ネズミを使った実験や、無重力環境下で浮かせて溶融させて素材の性質解明をする実験(静電浮遊炉)などが紹介されました。静電浮遊炉では過冷却凝固により、新機性能材料が作られる可能性もあります。また、宇宙での成果を使って、地上でダイヤモンドのような高い屈折率を持つJAXAガラスが作られています。また、宇宙の暗黒物質の謎に迫る実験、宇宙の塵をとらえて宇宙の起源や地球生命誕生に迫る実験も説明されました。また、日本の企業と連携しながら進めている実験として、株式会社ヤクルト本社と、乳酸菌を使った宇宙での免疫低下に対抗する研究も紹介されました。

ISSで実施したい実験がありますか、という質問に対し、会場からは、宇宙での食欲、宇宙での効率的な健康維持トレーニング方法に関する研究などが提案されました。また、宇宙での実験テーマが思いつした場合の問い合わせ先について質問があり、JAXAきぼう利用プロモーション室(Z-KIBO-PROMOTION@jaxa.jp)が紹介されました。

講演全体を通して、参加者、特にお子様と会話のキャッチボールが多く、お子様から大人まで、積極的に参加していただき、思い出に残る楽しいイベントになりました。



ジャパンフェスティバル アルバム





Showing Japan

天気予報も、前日の大雨も、当日の天候を心配するには十分すぎる程でしたが、大勢の関係者の願いが通じたのでしょうか？朝には雨も上がっていました。前日に準備が出来なかった為にブースの設置に時間がかかり、また例年に比べてスペースも少し小さく勝手が違いましたが、そこは皆で臨機応変。お客さんに買ってもらう出来た空いたスペースに新しい商品を並べて、とフル回転です。正面に設置した葉のコーナーは無料ということもあって大人気です。ボランティアの中高校生の前には列ができ、列が列を呼んでお店の方も賑わってききました。毎年のことですが、本当に日本のことが大好きで沢山買ってくださる方が必ずいらっしゃいます。ある年はマンガ本だったり、アクセサリーだったり、一日に何度も足を運んで下さる方もいらっしゃいます。今年は浴衣や着物を大量に出しましたが、そのほとんどが一日目で売れてしまいました。着物と帯を一緒にコー

ディネイトする方や、試着した浴衣が気に入ってそのままフェスティバルを楽しむ方もいらっしゃいます。大量に大人買いされる方もいらっしゃいます。商品の中には色々な方々からの寄付のもの他に、手作りの品物も多く含まれています。中でも今年のヒット作は手ぬぐい一枚から作った東袋。三角形を二枚合わせたような形をしていますが、入れるものの形や量に応じて自由に大きさを変えられる優れ物です。お友達へプレゼントにとまとめて購入された方がいらっしゃいました。決して見た目は派手ではないこの東袋の良さを分かってもらえて心の奥の何かが繋がったような不思議な嬉しさがありました。笑顔で商品を抱えて行くお客さんの後ろ姿を見送って、ブースは大成功でした。

日曜日は抜けるような青空に恵まれ、日本舞踊の発表日和となりました。Showing JapanからはRokumizukai Japanese Dance Academyとして参加しました。前日にステージの形に合わせて、急遽アレンジするというハプニングがありましたが、そんな動揺を感じさせない見事なお披露目でした。リズムカルで鯉背な「秋田たん」と、日本人には最も馴染みの深い「さくらさくら」、艶やかな振袖姿の踊り子の中にキリッとした男踊

りが光る「木遣り唄」、元気な笑顔について一緒に掛け声を掛けたくなくなってしまった「ソーラン節」、早いテンポで軽やかに踊る「おてもやん」。「京おどり」では、華やかな着物が溢れんばかりにステージを覆い、圧倒されました。そしてフィナーレには大人子供総勢47名による花笠音頭で締めくくりました。透き通るような青空が衣装を際引き立たせ、緑風が踊りに躍動感を与えます。子供たちは今日の晴れ舞台を目指して練習に励みました。お母さま方も着付けや髪型を練習したり、お子様方を励ましたり悲喜交々の数ヶ月だったことと思います。大人踊りも日曜日に集まって練習を重ねました。それまでの色々な思いを込めて、踊り終わった後の安堵感と達成感で大きな笑顔が溢れました。お互いの努力を讃合い、励ましに感謝するこの笑顔に今年も会えたことがまた次への第一歩となります。皆様本当にありがとうございます。島崎 紀子



グレーターヒューストン 日本人会

4月18日・19日の両日、ハーマンパークにて恒例のジャパン・フェスティバルが開催されました。天気予報では初日は雷雨確実と聞き、てるてる坊主を連れて出陣。そのおかげか、土曜日の夕方を除けば予報を見事に裏切る好天に恵まれました。

今年の日本人会のブースでは昨年の「おにぎり」、「あんぱん・クリームパン」、「綿菓子」、「Tシャツ」、「古本」に加え、他のイベントで大人気の岩谷産業のたこ焼きコンロでの「本場大阪風たこ焼き」を製造・販売致しました。「たこ焼き」の準備は2日間、有志が集まり試行錯誤の末、マスターレンピを作り上げ、焼きのタイミングもストップウォッチで計りながら綿密に研究して臨みました。製造現場でのたこ焼きの香り、日本への出張者に調達を依頼した鯉口シャツのユニフォーム、たこ焼きソングのBGMは集客に大貢献。お昼ごろには長蛇の列ができるほどの人気で、12台のたこ焼きコンロがフル稼働。おそらく世界で前代未聞ではないでしょうか。

「おにぎり」は昨年と同じ会場から近い能勢亜子様宅に製造会場を提供していただき、さすが昨年の経験もあり絶妙のチームワーク。まさに「水が流れる如し!」。味は2種類で食べ歩きもでき、大きさもきれいに揃っていて評判がよく、製造

が間に合わない時もありました。「アンパン・クリームパン」はMerryland Bakery様のご協力のもと、懐かしさからか複数購入される方々、またはリピーターが目立ちました。「綿菓子」は例年通り自前製造機で製造、販売しました。ちょうど食後の時間になると子供たちが列を作り、こちらも売れ行きは好調でした。販促チームのボランティアの皆様はアニメのキャラのコスプレや浴衣等で大活躍。フェスティバルの来場者に「かっこいい!」、「かわいい!」など声を掛けられ、写真撮影を求められたりと、高レベルな即席コスプレ大会が日本人会ブース内でも行われていました。

参加者一人ひとりのご尽力のおかげで、今年は昨年の最高成績をはるかに上回り、大成功で幕を閉じることができました。また、今回の企画・準備・製造・販売して下さったボランティアの皆様、ブタンボンベ・たこ焼きコンロ・ノウハウを提供頂いた岩谷産業様、今年も美味しいお米を提供頂いた



SATAKE様、たこ焼きの材料を寄付・提供頂いたJFC様・Wismettac Asian Foods様(旧称西本貿易)、おにぎり製造会場を提供して下さった能勢亜子様様に心より御礼申し上げます。尚、今回の収益は今後のイベントを通じてヒューストンの日本人コミュニティの方々に還元する予定ですので、皆様の日本人会のイベントへのご参加をお待ちしております。

山上彩子(日本人会Newsletter担当)

おめでとうコメッツ!

4月5日に開催された商工会ソフトボール大会について先月号で結果を速報しましたが、上位入賞チームから、よろこびの声と報告をいただきました。



優勝

コメッツ

コメッツ下克上日記



「じゃんけん、ほい!あ〜!!」歓声と悲鳴が交錯する中、崩れ落ちるコメッツのメンバー達。2014年暑い4月の日曜日、充実の戦力で臨んだ我らコメッツは準々決勝で住友ダッシュに最終回で同点に追いつかれ、じゃんけんで負けて涙を飲んだ。監督大西が繰り出したパーに納得できないという声が噴出し、大会後はチームの主力が続々と中国、イエメン、ハワイ等に離散。「コメッツこれからどうする?」「とあえげずもう1年やって考えようか?」そんな会話を交わされ、チームは存続さえ危ぶまれた。2015年に入っても、かわいがって困ったつもりの期待の新人に逃げられるなど、苦しい状況の中練習をスタート。必死に戦力を補強するも、とにかく打てないという悩みを抱えたまま、大会当日を迎えた。

初戦は優勝候補のEAGLES戦。毎年初戦は緊張しいのコメッツ、キャプテン落合による円陣も何を言っているか分からず掛け声が揃わない。悪い予感は当たって打線は沈黙し、監督の大西に至ってはチームにいない「斎藤」なる名前をオーダー表に書き、急遽自分のことだと判明した鈴木がバッターボックスに立つも心の準備ができず引退。どちらもよくある名字ランク上位とは言え、メンバーの名前を間違えるという失態はチームのムードに水を差し、軽々とボールを外野に飛ばすEAGLESに点差以上の完敗を喫した。やはり打てない…。

予選リーグ突破の望みが薄くなった2戦目TAKOXANS戦は力みも抜けて打線も上向く。しかしTAKOXANSのいてまえ打線を抑え切れず、リードを許して最終回に突入したが、ここで一挙9点をあげて逆転。最後は良い展開で大会を終われたね、と話していたが、昼食中、予想に反して得失点差による決勝トーナメント進出が判明。失うものはないコメッツは緊張も解け、準々決勝の強豪FC JAPAN戦に臨む。

1年間特訓してきたはずのじゃんけんにかけて初の先攻となったが、これが吉と出て1回表に打線が爆発。大差をつけ、らしくない試合運びで機動力に優る難敵に勝利。ここまで来ると、目に見えない勢いのようなものがチームを包んでいた。

準決勝のJAXA戦も打線の好調が続く。3人しかいないオーバー40で唯一の野手・北野の怪我による離脱もあったが、慣れないセカンドに入った池田、オーバー50のピッチャー松木の奮闘にも支えられ、JAXAの追い上げを何とか振り切り、ついに決勝に進出した。

決勝の相手はメンバーYUMYのご主人が所属する三

井マリガンズ。夫婦喧嘩という火種を抱えた一戦の前に、チームのモチベーションも最高潮。試合は攻守ともに安定したマリガンズ相手に緊迫した展開となるが、肉離れで走れないはずの加藤の、忍者を彷彿させる好走塁などで優勢に進める。最後は勢いで押し切り、コメッツ念願の8年ぶり優勝!!5試合を戦ったメンバーは満身創痍で、監督大西を胸上げするも一回で頭から落としたが、充実感に酔った。

振り返ってみると、今年のコメッツは決して戦力が揃ったとは言えなかったが、大会で一試合ごとにチームが成長していくのが感じられ、勢いで優勝まで駆け上った。当日好試合でコメッツを成長させて下さった対戦相手の皆様、また大会の運営を支えてくれた全ての皆様に感謝申し上げます。

来年は…?今年での引退をほのめかしていたKEIKOも、優勝に味をしめて、もちろんやる!とのこと。何より、誰よりもバッティング練習をがんばったのに結果が出なかった沙夜の悔しそうな眼…これで止めるとは言えません。来年もどうぞよろしくお願いたします。

< メンバー紹介 >

松木さん(山正)ピッチャー: 我らがエース。大会前の指の怪我に、当日もピッチャー返しがスネを強打…遅く来た厄年!?

のぶさん(Satake)ピッチャー: 若者のピッチャー返しが左肋骨に直撃するも、笑って許す懐の深いオーバー40!

沙夜ちゃん(Satake・妻)キャッチャー: コメッツで1番の努力家! 自宅の中でもバットを振り回す日々!が、本番では肩に力が入り…

YUMY(三井物産・妻)キャッチャー: 大会直前にスノボにて故障…が、大事な場面でショートからの豪球を見事にキャッチ!!

KEIKO(GENJI)キャッチャー: コメッツ女子部部長 兼 スカウト部長!今年4番古木を発掘する超ファインプレー!コメッツに興味がある方は、KEIKOまで。

アッキー(兼松)サード: 冷静な判断と熱い心でチームを牽引!が、決勝ではホームを踏み忘れるという、大凡ミス!

やっさん(KHA)ショート: 我らが監督!キレキレでさすがの活躍も、まさかのメンバーの名前を間違えるというオーダー!

北野さん(Satake)セカンド: 死守!の思いが先走り2年連続の素手キャッチからの突き指!

ミキティ(Satake・妻)ファースト: ミスショット時

の「あ〜」の声に雰囲気ほんわり。試合後、3チームからスカウト。

古木くん(ダイキン)レフト: 見事に4番の仕事を果たすも、試合後気が緩み、車のトランクにキーを閉じ込めた青い24歳。

志賀さん(コベルコ)センター: バッターBOXに立つ姿が中井貴一の様だと女子部で話題沸騰中!!

ちーあい(Satake)ローパー: 決勝トーナメント前に5-hour ENERGYを大量摂取、鼻血を出した我らがキャプテン。

アサビー(Satake)ライト: ソフト経験者の奥さんの代わりに子守に専念の予定が、大会4日前にバッティングが開花!

カトケン(豊田通商)DH: DHで代走付きのはずが、残されて足を引きずりながらのホームイン!肉離れは悪化。

鈴木くん(ヒューストン大学)DH: ネクストバッターは斎藤よ。って誰??監督「え?斎藤でないの?」負けるな鈴木!

石川さん(東芝): 縁の下の力持ちと気配り!

ちゃんアベ(クレハ): コメッツの盛り上げ隊長!2歳児とも息ぴったりで遊べるナイスなハートの持ち主!

清水さん(Meiko America): ホームを踏んで帰ってきた時の爽やかでgentlemanの笑顔!

準優勝 **三井マリガンズ**

一昨年の3位に続き、昨年は実力者をそろえ優勝のみ目指しながらのまさかの予選敗退となり、「実力(潜在的?)と自信(過信?慢心?)だけでは勝てない」ことをまざまざと思い知らされました。

その悔しさを胸に秘め臨んだ本大会は、若手新戦力加入により選手層に厚みが増したことに加え、今まで欠けていた「謙虚さ」が加わり、9年ぶりの優勝・古豪復活に向け、楽しみながらもストイックに日夜練習を積んで参りました。



当日は、悪天候の中駆けつけてくれた大勢の子供達を含む大応援団の熱い声援に支えられながら、打っては平均7割超の上位打線、守っては鉄壁の内野陣がチームを引っ張り、要所でのシニア・子供・女性の活躍もあり、苦しい戦いながらも何とか決勝進出。最後はあと一步のところで優勝には届かなかったものの、選手・ベンチ・応援団が一体となって掴んだ準優勝となりました。

＜三井マリガンズ＞

- メンバー： 米国三井物産及びその関係会社の勤務者・家族
- チーム名由来：“Mitsui Mulligans, Let Me Try Again”の1995年当時のスローガンが起源（マリガン＝ゴルフ用語で、ミスショットした時に打ち直しできる制度）
- 優勝回数： 2回(2004, 2006)
- 特徴・性格： 自信家、目立ちたがり屋
- 来年の目標： (謙虚に) まずは一勝！



3位 **Sojitz Passions**

昨年までのMettonsを改め、Sojitz Passionsとして参戦、練習期間の手応えは「優勝間違いなし!」と完全に調子に乗っていたものの、主力選手が試合直前に腰を痛め、更に別の選手も膝を故障、「昼から打ち上げかなあ?」と完全に弱気モードに。試合当日も多くの選手のお肉が次々に「ブチッ」、「ブチッ」と音を立てて切れ、最終的にはあと一人「ブチッ」となれば棄権已む無しか?という状況に。そうした危機の中、奇跡的に3位入賞できたのは、メンバーの熱いPassionの賜物でした。特にイーグルスさんとの試合では最終的に運良く流れを掴んで、逆転勝利させていただきましたが、途中何度も試合がひっくり返り、まさに死闘。身体はボロボロながらも、チーム一丸となり最高潮に興奮でき大変に幸せでした。

対戦させていただいたハリケーンズさん・Roadrunnersさん・イーグルスさん・三井マリガンズさん・JAXAダイナボアーズさん、そしてこのような素晴らしい大会を運営頂いた幹事の皆様へ心よりお礼申し上げます。



第551回 **テキサス会総領事杯**



プレー終了後には参加していただいた方々にクラブハウスに集まり昼食を取りながら当日のプレーを振り返って頂いた後に表彰式が行われましたが、ヒューストン日本国総領事館の高岡総領事にもお越しいただき、ご挨拶のお言葉と男性・女性の各優勝者への優勝トロフィー・賞品の贈呈をいただきました。この場をお借りいたしまして改めて厚く御礼申し上げます。総合優勝の藤原さんをはじめ、入賞者、飛び賞、特別賞受賞の皆様、本当におめでとうございました。なお、今回もテキサス会に向け、多数の賞品のご寄付を商工会各社様、日本人会の皆様及びその関係者の方々より頂き、大会を盛り上げることができました。皆様のご厚意に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

去る4月26日(日)、第551回テキサス会「総領事杯」がヒューストン国際空港の北、ヒューストン湖の畔に位置するThe Club of Kingwood, Forest Courseで開催されました。今年のヒューストンの春は例年より雨の日が多く当日の天候が心配されましたが、心地よい薄日が差し、またほとんど風のない絶好のゴルフ日和の下での大会となりました。

今回はメンバーシップのゴルフコースを利用したこともあつてか、総勢71名という多くの方々に参加していただきました。

本大会はこれまでと同様ダブルベリア方式で争われ、Toyota Tsusho America, Inc.の藤原さんがNew York勤務で長いブランクがあったにもかかわらず、テキサスの空の下で接戦を制して見事に総合優勝及び63名が参加された男性の部での優勝を勝ち取られました。また8名が参加された女性の部におきましては、Saaya Inc.の佐藤さんが日頃の成果を発揮されて優勝を収められました。今回もこれまでの大会に引けを取らず、上位者はハイレベルな戦いとなり、ベストグロス前半38、後半39と安定した好スコア77にまとめられたINPEX Corporationの三谷さんが獲得されました。



総合優勝 藤原さん



女性の部 優勝 佐藤さん

今回のテキサス会はエネルギー部会が幹事となりました。幹事を務めました弊社メンバーがゴルフの素人で実際の運営におきましては、幹事団をはじめとする部会内各社様はもとより、関係先の皆様が大変お世話になりました。無事に大会が終了し幹事団として安堵しております。改めて心より御礼申し上げます。

2015年6月からはユナイテッド航空社の日本直行便に加えて、ANAの直行便も就航するなどヒューストンにおける日系企業の環境はますます改善してきており、今後とも商工会会員ならびに日本人の方々が増えていく中、次回のテキサス会も引き続き盛大な大会になるものと期待しております。

(Japex (U.S.) Corp.幹事およびエネルギー部会幹事)

駐妻のヒューストン日記

第128回 渡部 愛さん

2012年8月、5歳の長男、3歳の次男、生まれて3ヶ月の三男を連れて、私はヒューストンの空港に降り立った。結婚前に約4年間ボストンで生活したことのある私は、主人の駐在に帯同し再びアメリカで暮らせること、庭付きの広い一軒家で3人の息子たちをのびのびと育てることができることに意気揚々としていた。テキサスのうだるような暑さと闘う覚悟はしていたが、数々の壁にぶち当たりながら進んで行くことになるとはあまり考えていなかった。

Katyでの生活がスタートし、まずは長男の現地校のRegistrationがあった。必要な予防接種を全て済ませるまで登校できませんと言われてしまう。日本では受けられなかった予防接種もあり、アメリカ到着後に受けようと思っていたものの、予約が取れたPCPのCheckupは1か月後。現地校が始まるまであと2週間足らず。学校開始に間に合わない…初っ端から壁にぶつかり焦る私。しかしこれはWalk in Immunization (予約なしで予防接種が受けられる)という情報を得ることができ解決された。4本の注射が必要だった長男は、優しい看護婦さんに羽交い絞め(!?)にされながら両腕、両ももにブスブスと針をさされた。さすがに可哀相に思われ、この日は帰りがけに、子供たちが目をキラキラさせながらこれが飲みたいと主張したクルクルストローのささった真緑色のICEE (アイシー)を買ってあげた。緑色に変色した舌を見せ合っていた長男と次男のはじけるような笑顔が懐かしい。

他にも、英語が第2言語になる生徒が受けなくてはいけぬESLの面接で計5時間待たされるという、乳児連れにはかなり厳しかった壁も乗り越えた。長男が現地校に通い始めることができ、ほっとしたのも束の間、英語の環境に慣れるべくプリスクールに通い始めた次男の登校拒否が始まった。まず車に乗らない。一生懸命励まし、八方手を尽くして車に乗せてプリスクールに到着するも、頑なに車から降りない。次男の長所でもあるが、彼はとても意志が強い。車の中で三男に授乳しながら1時間位かけて次男の説得も試みた。何度も力技にてそうになるが、泣き声をあげるベビーと嫌がって叫ぶ次男を両脇に抱えてプリスクールに乗り込むことは憚られ、しばしば学校を欠席した。この壁は、時間をかけて次男とつきあい、プリスクールの先生にも助けてもらい、仲のよいお友達ができただけで乗り越えられた。日本産のゲームを持っているそのお友達とPlaydateでお互いの家を行き来するようになり、学校にも次第に積極的に行かれるようになった。

三男がハイハイし始め、次男も笑顔で教室に入るようになった頃、夕飯の最中に長男が学校に行きたくないとぼろっもらした。唇をぎゅっとな文字に結び涙をこらえていた。長男は楽しそうに学校に通っていて英語もどンドン上達していたのでスムーズに適応していると思い込んでいたけれど、不安定な弟

と余裕のない母、忙しい父のために、心配かけまいと必死に頑張っていたのだと、そこで初めて気が付いた。大人でさえ新しい環境に慣れるのに苦労するのに、ましてや5歳の長男がストレスを感じていないわけがない。いつも天真爛漫な笑顔を見せてくれる長男が、家族を思いやり自分の感情を心の中に仕舞い込んでいたことを思いとでも反省した。家族で駐在生活を送るとき、異国の地で協力し合うことが増えるけれども、目に見えないところでも、お互いに支え合っていることに気付かされた。この壁は、先生に相談したり、学校のランチ時間に顔を出して長男とクラスのお友達に声を掛けたり、私が積極的に学校に関わるようになったことで、取り払っていくことができた。現在、長男と次男は同じ学校に通っている。ボランティアで図書室の本棚を整理しているとき、子供達が私を見つけて、友達に自分のママだよと紹介するときの嬉しそうな顔をみると私も「ハ〜イ!」と声が大きくなる。

駐在生活もうすぐ3年。私に余裕ができたなら子供達にも余裕ができたように思う。積極的に行動することで、壁を乗り越えられてきたことは子供にとっても私にとっても大きな財産である。家族の絆を深めてくれている駐在生活に感謝しながら、これからも家族と一緒に楽しく暮らしていこうと思う。



No.86

ヒューストン知っせん物語

By Kumiko





編集委員会では医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康に関する話、メディカルセンターの様子などを連載記事としてご紹介しています。前回の田上聖徳先生から産婦人科が専門の三田村卓先生にバトンが移りました。

第127回

産後うつ病について

北海道大学医学部 産婦人科 三田村卓



こんにちは、産婦人科医の三田村と申します。現在MD Anderson Cancer Centerに留学中で、主に卵巣癌の研究を行っています。ヒューストンで雪のない冬を初めて経験しましたが、慣れると北海道に帰った時が大変そうでした。親の仕事の関係で生まれはオハイオ州のClevelandという街だったのですが、生後すぐに日本に帰り(?)2重国籍です。実際本人は、英語の苦手な普通の日本人です。僕が留学に来たのは、治療の難しい卵巣癌に対して最先端の研究や治療が行われている同centerにおいて現在どのような展望で医学研究が展開されているのか、少しでもCatch upできればと思ったからです。現在は婦人科の教授のもとで、試験管を振ったりする様ないわゆる実験を行っています。残念ながら今日の時点でまだお示しできる研究成果がないため、今回は産後うつ病のお話にさせていただきます。

最近、乳幼児の育児中の母親が自殺してしまった、子どもと共に無理心中を図ったといったニュースを時々耳にします。産科医療の進歩に伴い日本では妊産婦の死亡は減少し、年間の死亡数は約50人程度です(10万人に4人)。その大半は出血や感染症など妊娠や出産そのものが原因であり、自殺はこの50人の中で2%程度(10万人に0.08人)、お産の数は年間100万を超えるくらいなので、年に1人いるかどうかと思われます。しかしこのような結果は主に妊娠中から出産直後までの話で、育児中の女性は含まれていません。産後1年まで調べた海外の報告によると、自殺率は10万人に2人とむしろ多く、体が回復しても心の問題がむしろ悪化することを示しています。そしてその背景には、産後うつ病の存在が指摘されています。

産後は、急激な体の変化、育児への不安などが相互に作用するため、女性の精神障害の好発時期と考えられています。特に産後うつ病は、軽度で一時的なものを含めるとすべての産後女性の15%に発症すると言われています。また、出産直後に発症するとは限らず、産後数ヶ月にわたり発症する可能性があります。そのため、どんな女性にも起こりうると考えて早期に発見して支援していく必要があります。症状は、子どもへの興味がなくなる、楽しみがなくなる、自分自身に興味がなくなる、意欲がなくなる、などですが、本人に病識がないのが大きな問題であり周囲が積極的に発見してあげる必要があります。その際に、簡単でお金をかけずに実施できる質問票をご紹介します。

エジンバラ産後うつ病調査表

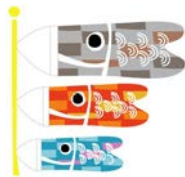
- 笑うことができるし、物事のおもしろい面もわかった。
(0)いつもと同様にできた。(1)あまりできなかった。(2)明らかにできなかった。(3)全くできなかった。
- 物事を楽しみにして待った。
(0)いつもと同様にできた。(1)あまりできなかった。(2)明らかにできなかった。(3)ほとんどできなかった。
- 物事がうまくいかない時、自分を不必要に責めた。
(3)はい、たいていそうだった。(2)はい、ときどきそうだった。
(1)いいえ、あまりたびたびではない。(0)いいえ、そうではなかった。
- はっきりした理由もないのに不安になったり、心配した。
(0)いいえ、そうではなかった。(1)ほとんどそうではなかった。
(2)はい、ときどきあった。(3)はい、しょっちゅうあった。
- はっきりした理由もないのに恐怖に襲われた。
(3)はい、しょっちゅうあった。(2)はい、ときどきあった。
(1)いいえ、めったになかった。(0)いいえ、全くなかった。
- することがたくさんあって大変だった。
(3)はい、たいてい対処できなかった。(2)はい、いつものようにはうまく対処しなかった。
(1)いいえ、たいていうまく対処した。(0)いいえ、普段どおりに対処した。
- 不幸せなので、眠りにくかった。
(3)はい、ほとんどそうだった。(2)はい、ときどきそうだった。
(1)いいえ、あまりたびたびではなかった。(0)いいえ、全くなかった。
- 悲しくなったり、惨めになった。
(3)はい、たいていそうだった。(2)はい、かなりしばしばそうだった。
(1)いいえ、あまりたびたびではなかった。(0)いいえ、全くそうではなかった。
- 不幸せで、泣けてきた。
(3)はい、たいていそうだった。(2)はい、かなりしばしばそうだった。
(1)ほんのときどきあった。(0)いいえ、全くそうではなかった。
- 自分自身を傷つけるのではないかという考えが浮かんできた。
(3)はい、かなりしばしばそうだった。(2)ときどきそうだった。
(1)めったになかった。(0)全くなかった。

10の質問があり、()内の数が点数です。普段なら合計点数が一桁台前半だと思えますが、産後に12点以上、あるいは質問10で“そうだった”を選択した人が産後うつ病のハイリスクと考えられます。比較的安産だった503人を対象とした北海道での調査では、基準を少し厳しくして合計9点以上をハイリスクとしましたが、全体の8%が9点以上をつけました。また、10代での妊娠、妊娠中の離婚、マタニティーブルー、妊娠中からの精神疾患があると点数が高い傾向がありました。

もしみなさんの周りに何となく前と様子が違うのではないかという育児中の女性がいたら、このようなチェックの方法があることを教えてあげてください。貴重な母子の命を守ってあげることができるかもしれません。

私のヒューストン滞在はあと半年から1年くらいの子育てですが、今後ともよろしくお願ひいたします。

今回は河野美保先生です。河野先生は、MD Anderson Cancer Centerでがんの臨床研究をされています。日本人会のmedical系の集まりでお会いし、今回のご依頼を快く引き受けていただきました。



今後の開催予定

<あそぼーかい>
6月7月8月はお休み
<読み聞かせの会>
6月7月8月はお休み

変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやヒューストンなびでもご確認ください。

スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい mama.asobokai@gmail.com
読み聞かせの会 houstonyomikikase@yahoo.co.jp

図書棚卸作業の
お知らせ

三水会センター図書館では、25,000冊を超える図書の貸出を行っています。その図書の管理と整理のため、下記日程で棚卸作業を行います。棚卸作業期間中は返却のみ通常通り受け付けます。返却予定の皆様には延滞金の支払いが発生しないよう十分ご注意ください。また、作業期間中の貸出・閲覧は休止しますので予めご了承ください。なお、商工会・補習校事務局は作業期間中も通常通り業務を行います。

棚卸作業期間:2015年6月2日(火)～6月13日(土)

古本市
開催報告

5月2日、生活・情報委員会主催の古本市が開催されました。おかげさまでたくさんの方にご来場いただき、大盛況でした。皆様のご協力で収益は\$ 1110.00となり、募金が\$ 37.00ありました。すべて、子供向けの本を増やすために使わせていただきたいと思います。また、前回の古本市から、ピーカンキッズ絵本読み聞かせの会が中心となってボランティアをさせていただいており、収益金で購入する子供の本の選定から登録作業まで携わらせていただいております。

前回の収益からは、40冊の本を購入することができました。特に、「科学漫画サバイバル シリーズ」は、シリーズ49冊のうち29冊が揃いました。図書館では、返却されるそばから貸し出しされるという大人気の本となっています。今回の収益からも、世界中の子供たちの間でベストセラーになっているこのシリーズ本をはじめ、絵本読み聞かせの会で大人気の大型絵本、心に

響く物語などを厳選し、ヒューストンの子供たちにも届けたいと思っています。今後も、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



Houston Walker

■May 21- 25, 2015, Carnival Houston @ Toyoda Center
Celebrating carnival from the caribbean, Brazil and New Orleans Mardi Gras. It is an exciting an explosion of music, cuisine, revelry, costume parade and performances.
<http://www.carnivalhouston.com/>

■May 31st 2015 Festival de Mariachi @ Traders Village
The market will come alive with live Mariachi Music, Great Shopping, Great Food, Cold Drinks, and Family Rides! 12pm to 16pm Free to the public, parking \$4.
<http://tradersvillage.com/houston/events>

■June 11-14 2015, Republic of Texas Biker Rally @ Travis County Expo Center in Austin, TX.
ROT Biker Rally is the largest motorcycle rally in the USA and one of the most highly-anticipated motorcycle events in the entire country.
<http://www.rotrally.com/>

編集後記

4月の商工会行事は、5日のソフトボール大会に引き続き、18日、19日のジャパンフェスティバルと26日のテキサス会総領事杯が、予定通りに行われました。

ソフトボールの試合結果は先月号で速報しましたが、今月号では優勝(コメツ)、2位(三井マリガンズ)、及び3位(Sojitz Passions)から頂いた体験記を掲載しました。各チームの舞台裏が面白く書かれています。ジャパンフェスティバルは、開催日前夜の大雨と雷でテントの設営が遅れたり、開催2日目に金魚すくいの給水が止まってしまったりのトラブルにもかかわらず、ボランティアや有志の方の機転の利いた働きにより、2日間、無事に開催されたそうです。なお、ジャパンフェスティバルの会場でもあるハーマンパーク日本庭園の維持管理のため、商工会はHermann Park Conservancyに毎年、寄付を行っており、今年も、ジャパンフェスティバルの開会式において、模造小切手の贈呈が行われました。また、テキサス会総領事杯は、絶好のゴルフ日和に恵まれて71名の参加があったそうです。

さて、15日の商工会セミナーでは、米国

航空業界の動向について講演を頂きました。利用者としては身近ながら、ビジネス面ではなじみの薄かった業界の動向が伺えます。また、講師の方からは、マイレージプログラムの有効活用についてもご教授頂きました。ご興味のある方は、是非、記事をご覧ください。

なお、私事で恐縮ながら、小職(白木)は4月29日に帰任し、「ガルフストリーム」の編集は今回が最後となりました。ガルフストリームをご支援下さった会員各位と、寄稿でお世話になった方々、及び、2年間にわたり滞りなく誌面を纏めて頂いた編集委員各位に、この場を借りて御礼申し上げます。来月号からは、後任の佐藤大地が担当致します。引き続き、「ガルフストリーム」を宜しくお願い申し上げます。(白木 秀明)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューストン日本商工会
発行責任者 : 高杉 禎
編集委員長 : 白木 秀明
構成・編集 : 岡野真弓/鍵富雅紀/前田正子
印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000